

# 稲作だより 大雨浸水対策号

## 令和6年7月17日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部  
(最上総合支庁農業技術普及課) ☎0233-29-1333

## 大雨浸水圃場の経過観察と対策を

### 流入した土砂の速やかな除去

圃場に土砂等が流入した場合は、関係機関に連絡を行うとともに、流入した土砂等を適切な方法で速やかに除去しましょう。

### 病害虫を早期発見

7月上旬の大雨によって、稲が冠水・浸水した圃場では、稲体の損傷や体質の低下等の影響で病害虫の発生リスクが高まるため、**圃場の見回り、早期発見と適切な防除**に努めましょう。

### 葉いもちを茎葉散布剤により防除

6月下旬以降、葉いもちの発生しやすい気象条件の日が続いています。

**葉いもちを確認したら、直ちに治療効果のある茎葉散布剤で防除します（下表参照）**。薬剤散布に際しては、穂いもちの共同防除計画を確認し、農薬ラベルを確認して、使用回数が基準を超えないよう注意しましょう。

表 葉いもちの防除薬剤例

薬剤名	有効成分と本田での使用回数			
ノンプラス粉剤DL	トリシラゾール	3回以内	<b>フェリムゾン</b>	2回以内
ブラシン粉剤DL	<b>フェリムゾン</b>	2回以内	アザイト*	3回以内
ブラシンフロアブル	<b>フェリムゾン</b>	2回以内	アザイト*	3回以内
カスミン液剤	<b>カスガマイシン</b>	2回以内		

※太字が治療効果を有する成分。

### 間断灌水で根の機能維持

冠水や浸水の被害を受けた圃場では、根の活力が低下することが考えられるため、新しい水と交換し、田面を過度に乾燥させないよう、**こまめに間断灌水を行い根の機能維持**に努めましょう。